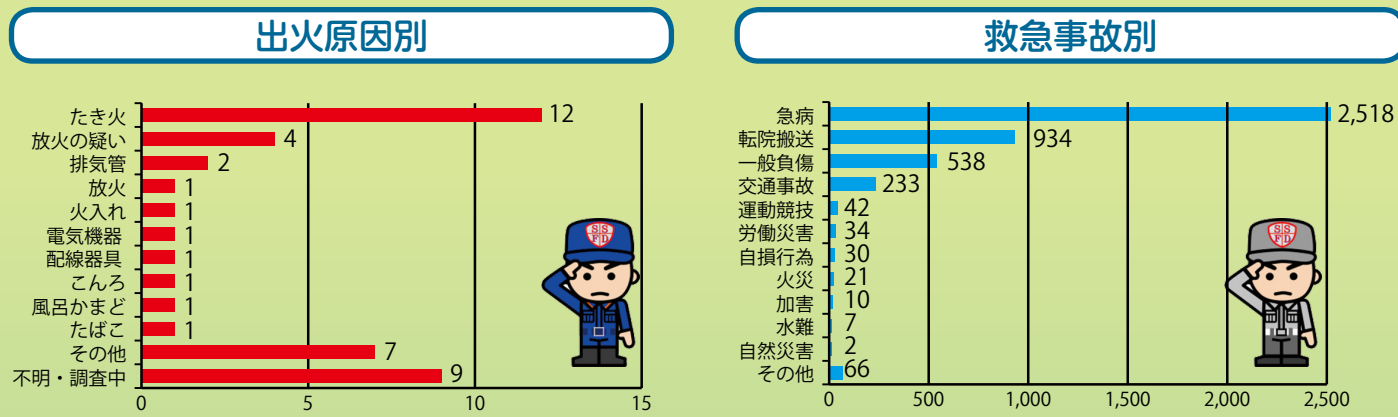
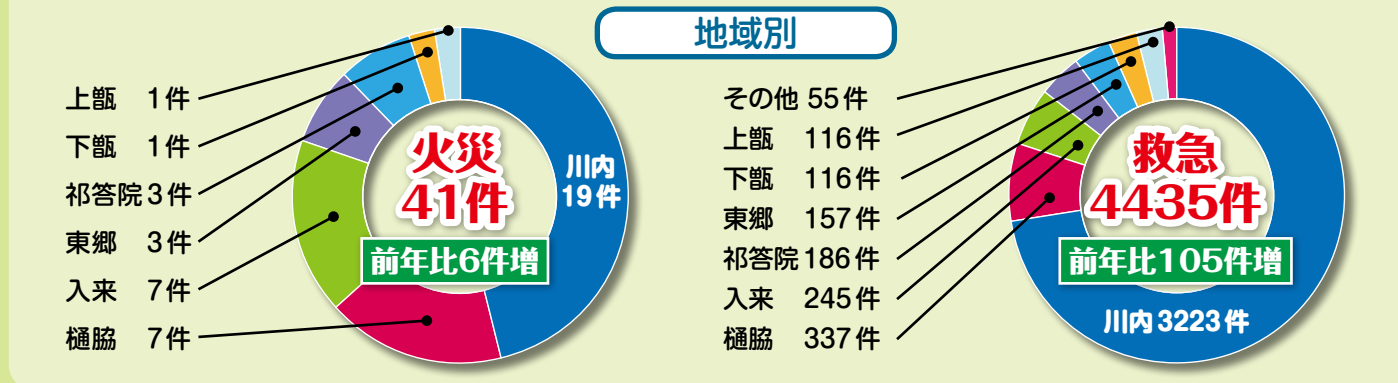


令和元年 火災・救急の状況



火災は、過去最低の平成30年より6件増加し41件で、おおよそ9日に1件の割合で火災が発生した計算になります。人口1万人当たりの出火件数(出火率)は4.34と全国の2.97、鹿児島県の3.90と比較して高い水準となっています。特にたき火や火入れを原因とする火災は13件発生し、そのほとんどが枯れ草焼きの不注意によるものです。焼却行為は原則禁止されています。例外による枯れ草焼きなどを行う場合は消防局へ届け出て、焼却する時は火災の予防に努めていただくようお願いします。

一方、救急件数は年々増加する傾向にあり、平成30年より105件増加し4,435件で、過去最多の件数となりました。おおよそ1日12件の割合で発生していることとなります。搬送人員は3,968人で、昨年より47人の増加となり、中には急を要しない軽症者の要請も含まれます。救急車は大切な人の命を守る資源です。より多くの人を助かるよう適正利用をお願いします。

Q助 (全国版救急受診アプリ) をご存知ですか？

病気やけがをしたときに、該当する症状を選択していくと緊急度に応じた必要な対応(「いますぐ救急車を呼びましょう」「できるだけ早めに医療機関を受診しましょう」「緊急ではありませんが医療機関を受診しましょう」「引き続き、注意して様子を見てください」)が表示されます。その後、医療機関の検索(厚生労働省の「医療ネット」)や、受診手段の検索(一般社団法人全国ハイヤータクシー連合会の「全国タクシーガイド」)を行うことができます。

全国版救急受診アプリ **Q助** (きょうすけ)

Google Play で手に入れよう

Download on the App Store

実は身近にいます！ 地域を守る防災の要

みなさんの 薩摩川内

かなめ

編集/薩摩川内市消防局予防課 <http://www.satsumasendai-fd.jp> 薩摩川内市消防局 検索

毎年のように全国各地で発生する、豪雨、台風などの風水害、また、熊本地震や東日本大震災のような地震などの自然災害、その規模が大きいほど被災した地域の消防士をはじめとする公的な防災機関だけでは対応が難しくなります。この様な大災害時に非常に大きな力となり、安全を守るために活動する組織が皆さんの身近にあるのをご存じですか？その組織は「消防団」です。消防団は地域防災の「要」とであると言っても過言ではありません。消防団員はそれぞれの職業に就きながら、安全・安心なまちづくりを目指し、「自分たちの住む地域は自分たちで守る」という志を持って活動しています。本年1月1日現在の薩摩川内市消防団の団員数は1,202人で薩摩川内市消防局職員の約8倍です。大規模災害時には、多くの人員を動員することが可能で、被災地の住民であるため、迅速で地域に密着した活動支援をすることで、大きな力となり市民の安全と安心を守ると重要な役割を担っています。

消防団の主な活動内容

- ①災害時の消火活動、救助活動、危険箇所の警戒活動、水防活動**
 - 特に大規模災害時には、地域密着性を生かし市民の安全を守るように活動します。
- ②火災予防広報活動 (車両による広報・住宅防火訪問)**
 - 同じ地域の住民でもあるので伝わりやすく、火災を未然に防ぐことにつながっています。
- ③普通救命講習会の指導(女性団員)**
 - 消防職員と一緒に女性目線の指導で「助かる命を助けるため」の指導をしています。
- ④各種訓練**
 - 訓練を繰り返し行うことで、技術と災害への対応力を磨きます。
- ⑤車両や資機材の点検整備**
 - いつ災害が発生しても出動できるように、常に万全の体制を整えています。

令和2年4月1日から発足！ 『機能別団員』

少子高齢化の進展や、人口減少などにより、消防団員の減少傾向が続く現状を踏まえ、大規模災害時における消防団活動を補完するため、新たに令和2年4月1日から「機能別団員」を発足し、地域防災の担い手となる消防団員確保と地域防災力の充実強化を図ります。主な活動は、◎特定災害支援(大規模災害・自然災害・火災発生)◎避難所運営支援◎イベント等活動支援

消防団員募集!!

薩摩川内市消防団では、消防団員を募集しています。

資格要件

- 薩摩川内市消防団の区域内に居住し、勤務または通学する年齢18歳以上の方
- 心身ともに健康であり、消防団員の任務に堪えることができる方

興味のある方は、地元の消防団、または次の問合せ先までお電話ください。
問合せ先/消防局警防課消防団係 ☎(22)0119(代表) (22)0125(直通)

マスコットキャラクター 薩摩川内ウーカンくん